

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

“休みの日、何をして楽しもう？”湧(ゆう)ゆう湧(わ)くわく体験塾 「スノーハイク」に行ってきました

2月10日、湧ゆう湧くわく体験塾の12名の塾生が五鹿山に「スノーハイク」に行ってきました。湧別アウトドアクラブYU-PALの絹張洋史会長をはじめ4名の会員の皆様と2名の協力者による指導で、五鹿山を散策してきました。

この日の朝は少し低めの気温でしたが、歩き始める時には寒さを感じさせない丁度良い天候になりました。五鹿山スキー場のロッジを出発し、キタキツネ、野ウサギ、エゾリス、野ネズミの足跡などを観察しました。足跡から、どこに向かったのか、どの木からどの木に移動したのか、急いでいたのかゆっくり進んだのかなどが分かります。木の根元には野ウサギのフンがありました。家ウサギと違っておがくずが固まったようなフンにおいても全くありません。また、植物では夏にも見る事が出来たオオウバユリの種や、ぶどうのツル、ヤドリギなどを観察してきました。



事前にYU-PALの皆さんが道を付けておいてくれましたが、それでも山道のアップダウンは歩きにくいところがたくさんあります。遅れた子に、友達が肩を貸してくれたり「がんばれ!」と応援してくれたりしました。途中の休憩では、おやつを交換して楽しい話をしながら交流が深まりました。

途中の丘の上からは流氷がきれいに見え、空と海と流氷のコントラストの美しさに子どもたちから歓声が上がっていました。湧別の自然に触れ、その美しさに感動し、充実した時間を過ごしました。

集合写真は遠くに見える流氷をバックに撮ったものです。



明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

ニュースポーツで世代を超えたコミュニケーションづくりを!

2月8日、15日、22日の3日間で、「ニュースポーツdeあそぼ」が開催され、延べ45名が参加しました。ニュースポーツは、子どもから高齢者までを対象に気軽に楽しむことができるスポーツで、今回は「モルック」、「インディアカ」、「ポッチャ」の3種目に挑戦しました。

モルックでは、思ったように当たらず苦戦していましたが、チーム内で協力し作戦を練るなど楽しみながら行っていました。参加者の多くの方が、普段あまり運動をすることがなくニュースポーツ未経験者でしたが、ニュースポーツの魅力の一つでもある「ルールが易しく誰でも行いやすい」を実感しながら挑戦することができました。



モルックの様子



インディアカの様子



ポッチャの様子

「1レーエッセイ」 「スポーツ推進委員のある一日」 第159回

ベニガサテングタケ（ベニテングタケ）って知ってる？我が家の次男からの問題、、彼の目はキラキラに輝いています。登るときはなかったんだけど、降りてくるとき(下山)に急にでてきたんだよー！色はね、模様はね、大きさはね、、！！

彼は、近くの山に登山に連れて行ってもらったのです。それからの彼は、きのこ博士。

図書館から借りた本は、キノコの本。YouTubeで山の動画を見て、またキノコ。自分で得たキノコ情報は、彼の中から溢れ出てきます。好きはどんどん深くなり、知りたいはすごいパワーとわくわくを生み出します。キノコ博士の春も少しずつ近づいてきました。日々色々なことに追われて、見逃してしまう小さいことの中にも、たくさんのわくわくが隠れているのかも？と学んだ1日でした。

スポーツ推進委員 松本 桃子

子どもは町の宝 手を取り合い、支えあって育てよう ～家庭教育推進目標～

ご家庭で今日から生かせる情報がたくさん! 家庭教育研修会が文化センターさざ波の実習室で行われました

2月4日、置戸町食のアドバイザー 佐々木十美氏を講師に迎え、家庭教育研修会を実施しました。講演だけではなく、実習を交えながらお話を聴きました。

最初に、昆布・鰹節・煮干しでとった“だし”と、市販の顆粒だしを用いた“だし”の飲み比べから話がスタートしました。市販の顆粒だしに含まれる原材料の話や、パッケージの裏面に書かれている成分の見方などの話がありました。

佐々木さんは給食でもこだわりの食材を使った「給食の母」として有名ですが、今回はあえて



“簡単ふりかけ”やお湯を注いで具を入れるだけで味噌汁が出来る“味噌玉”等、子どもと一緒に、子どもだけでもできるものをお願いしました。子どもたちは、これから自炊をして通学したり、単身赴任をしたりすることもあると思います。お子様と一緒に調理するきっかけになってほしいと思います。今は、お金を出せば様々な食べ物が購入できる時代ですが「食べることは生きること」です。原材料を確認すること、

生産者について意識すること、どんな材料でどのように作られているかを考えてみるのが大切だとわかりました。

ふりかけごはんはんと置戸町の乾燥野菜を使った味噌汁を試食しながら、和気あいあいとした雰囲気の中、予定していた時間があっという間に過ぎてしまいました。残ったご飯は、ふりかけを混ぜ込んでおにぎりにして持ち帰りました。



今回の研修会に向けて、ボランティア協力者の方に、講師や会場についてご意見をいただき、当日の運営についてもお手伝いをいただきました。また、周知にあたっては、PTA連合会や町内の家庭教育サポート企業の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

令和6年度「教育行政執行方針」(抜粋)をお知らせします

学校・家庭・地域・行政が一体となり、本町の教育振興と発展に向けて、全力で取り組んでまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 「小中一貫教育の推進」

- ・優れた教育環境を確保するため、町内全域での小中一貫教育を取り入れ、9年間を見通した一貫性のある教育の充実
- ・「学び合いのある学び」活動の充実と、授業づくりを通して「学校づくり」の推進
- ・上湧別地区義務教育学校開校に向けた増築校舎の建設と中学校棟の改修工事の実施

2 「学力向上の取り組み」

- ・北海道大学と連携した中学校での「学びの共同体」の授業スタイルによる学力向上
- ・「湧別町学校力向上プラン」の取り組みを推進

3 「ICT教育」

- ・個別学習におけるデジタル教材の活用によるデジタル教科書の積極的活用
- ・タブレットを活用して、より深い学びや聞き合い学び合いの促進

4 「安全・安心な学校づくり」

- ・新型コロナウイルス感染症や季節性感染症の感染予防対策による安全な校内環境づくり
- ・オンライン授業やタブレットの持ち帰りを進め、学びを確実に保障する対策
- ・通学路交通安全プログラムを活用し登下校の安全確保

5 「豊かな心と健やかな体の育成」

- ・道徳授業や集団生活のルール指導
- ・運動の習慣化や規則正しい生活、携帯電話やゲーム依存の防止指導による心と体が調和した優れた人格形成
- ・いじめの早期発見と素早い対応。家庭や関係機関との連携
- ・不登校の未然防止。「居場所づくり」と「絆づくり」

6 「特別支援教育」

- ・支援を必要とする児童生徒への個別指導を行うため、通級指導教室の充実
- ・特別支援教育支援員の配置と関係機関との連携による適切な支援

7 「中高一貫教育」

- ・新たな連携の柱「主体的・対話的な学習」「地域と連携した探求的活動」に基づいた取り組みの推進

8 「北海道湧別高等学校への支援」

- ・湧別高校の魅力化と入学者数の増加を図るため「北海道湧別高等学校存続対策事業」を実施
- ・テニスコートの継続整備

9 「国際理解教育の推進」

- ・「英検チャレンジ事業」を継続し、英語検定資格取得の支援
- ・海外友好都市との中学生・高校生の交換留学事業と相互交流事業を実施し、カナダへ相互交流派遣を予定

10 「学校給食センターの運営」

- ・施設内の衛生管理を徹底し、地場産や北海道産の食材を用いたバランスの優れた給食の提供
- ・栄養教諭による食育教育の推進

11 「社会教育の振興」

- ・子育て世代包括支援センターとの連携強化を図り、「家庭教育研修会」や「親子で参加できる講座」など、学習機会の充実
- ・家庭、学校、地域と連携し、「湧ゆう湧くわく体験塾」や「児童宿泊研修会」「百人一首教室」や、青少年指導センターと協力して「ミニバレーボール大会」など子どもたちの交流事業の提供
- ・新篠津村との「小学生交流キャンプ」の実施
- ・青年団体協議会への研修や学習機会の提供及び活動支援
- ・「町民大学」「お宝を訪ねる旅」「ふるさと講座」など社会教育関係団体の支援
- ・アクティブシニアをターゲットにした短期学習事業の充実
- ・チューリップ生きがい大学の学習と交流支援
- ・社会教育施設の計画的な整備・適正な管理運営

12 「スポーツ活動の振興」

- ・体育協会やスポーツ少年団、自治会などと連携したスポーツ教室や各種大会の開催による生涯スポーツの推進
- ・合併15周年記念事業レバンガ北海道による「バスケットボール教室」や「トークイベント」の開催
- ・スポーツや健康づくりを推進するため、本町独自の「チャレンジデー」の取り組み
- ・合宿誘致

13 「芸術文化活動の振興」

- ・合併15周年記念事業「一般向け音楽公演」の開催
- ・町民有志団体による芸術文化公演への支援
- ・文化連盟や文化サークルの活動を支援し、暮らしにゆとりとるおいを実感できる芸術文化の振興

14 「部活動の地域移行」

- ・「湧別町部活動地域移行検討委員会」での協議
- ・湧別町の実情にあった地域クラブ等への移行について検討

15 「博物館及び文化財保護活動」

- ・学校教育との連携による博物館学習を継続し、子どもたちが歴史文化に触れる機会の提供
- ・「シブノツナイ 堅穴住居跡」の調査結果の分析及び専門家による調査検討委員会の開催、文化庁との協議
- ・収蔵資料の整理、適正な保存

16 「図書館活動の振興」

- ・本の継続的な購入、図書の展示や質問への対応などによる図書館機能の充実
- ・「ブックスタート事業」、学校図書支援、移動図書館車運行、各ボランティアとの協働による読書機会の提供
- ・マイナンバーの利用による利便性の向上

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

ひな人形の飾付け！

～両館で「ひな人形」の飾付けをしました～

2月17日（土曜日）、中湧別図書館「読み聞かせ会」の参加者と共にひな人形の飾付けをしました。（写真右）

湧別図書館では、14日（水）、リーディング倶楽部たんぽぽのメンバーが中心となり、この日開催した「本の修理ボランティア」のメンバーも加わり、ひな人形の飾付けを行いました。（写真下）皆さん、ありがとうございました！



「こどもの読書週間」特別展示のご紹介！

4月23日の「子ども読書の日」、「こどもの読書週間」に合わせ両館で特別展示を開催します。



ひらいてワクワク
めくってドキドキ

2024・第66回 こどもの読書週間 4/23～5/12

<中湧別図書館>4月26日（金）～5月28日（火）

・特別展示「なりきりアイスクリーム屋さん」

<湧別図書館>4月20日（土）～5月28日（火）

・特別展示「こどもの本総選挙」

小学生が選ぶ「こどもの本総選挙」結果を
あなたの目で確かめよう！



中湧別図書館「読み聞かせ会」のお知らせ

【日時】4月6日（土曜日）13:30～14:00

4月20日（土曜日）13:30～14:00

【場所】中湧別図書館 おはなしコーナー

4月の図書館休館日

4月1日（月）、2日（火）、8日（月）、15日（月）、22日（月）、29日（月）、30日（火）

*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】10:00～18:00

【貸出冊数】ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】中湧別図書館 電話 2-3150
lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】2週間

湧別図書館 電話 5-3122
lib-y@town.yubetsu.lg.jp

埋蔵文化財シリーズ74
自然科学分析

遺跡から見つかった魚の骨

博物館だより
—ふるさと館 JRY・郷土館—
【第170号】

遺跡の発掘調査では竪穴住居跡の土から動物の骨が見つかる場合があります。その骨を見ることで、当時どんなものが食べられていたか、どのような自然環境だったかなど多くのことを推測することができます。今回は魚の骨に注目します。

カマドの土は、骨の宝庫！

動物の骨、特に魚の骨は1cm未満の微小なものが多く、骨だけを発掘調査中に採取することは困難です。そのため、骨が含まれていそうな場所の土をそのまま採取して確認作業を行います。

骨が多く見つかるのはカマドや炉の周りの土です。一般的に動物の骨は酸性土壌の影響で溶けて失われますが、カマドや炉で焼けて石灰化した場合は溶けにくく現代まで残ります。

骨の確認作業は採取した土の水洗いから始まり、水に浮くものとそうでないものに分けます。浮くものは炭化した植物の種子等で、それ以外のは沈殿します。その沈殿物を更に水で洗い流しながら網目の異なるフルイに通すと、今まで気づかなかった微細なものが残ります。残ったものをよく乾燥させてから観察すると、土器や石器のかけらに混じって動物の骨が見つかります(右図)。



図：川西2遺跡採取の魚骨

分類群	部位	数量
サケ科	椎骨片 (背骨の一部)	61
サケ科イトウ	椎骨片 (背骨の一部)	1
コイ科ウグイ属	歯骨	2
コイ科ウグイ属	方骨 (頭骨の一部)	1
コイ科ウグイ属	椎骨 (背骨の一部)	1
コイ科ウグイ属	椎骨片 (背骨の一部)	14
ニシン科	椎骨片 (背骨の一部)	1
アイナメ科	尾椎	1

表：川西2遺跡 (25号竪穴) 採取の魚骨

過去と現在をつなぐ!?ウグイ

令和元年に川西2遺跡(約1,000年前: 擦文文化)で行われた発掘調査では、多くの魚の骨が採取されました(左表)。内訳をみるとサケ科(椎骨)が一番多いですが、注目は2番目にウグイが多いことです。ウグイに注目するのは、遺跡の西側にシブノツナイ湖があるからです。この「シブノツナイ」はアイヌ語の「ウグイの多い川」が由来です。1,000年前の魚の骨と現在の地名に共通する「ウグイ」が、今後この地域の歴史や人々の暮らしを考える際のカギになりそうです。

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2024年3月号 No.170

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1
https://www.town.yubetsu.lg.jp/

印刷…中湧別印刷(中湧別南町)発行…令和6年3月25日

記事へのお問い合わせは下記へ

* 社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

* 湧別図書館…電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256

* 中湧別図書館…電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190

* ふるさと館 JRY…電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200